

# 学級経営リフレクション

～児童学級満足度アンケートと組み合わせた  
分析とその活用に向けて～

戸田市教育委員会

# 本日ご議論いただきたいこと

## 教員の自己評価データと児童生徒の調査を紐づけた分析について

教員の自己評価 = 学級経営リフレクション

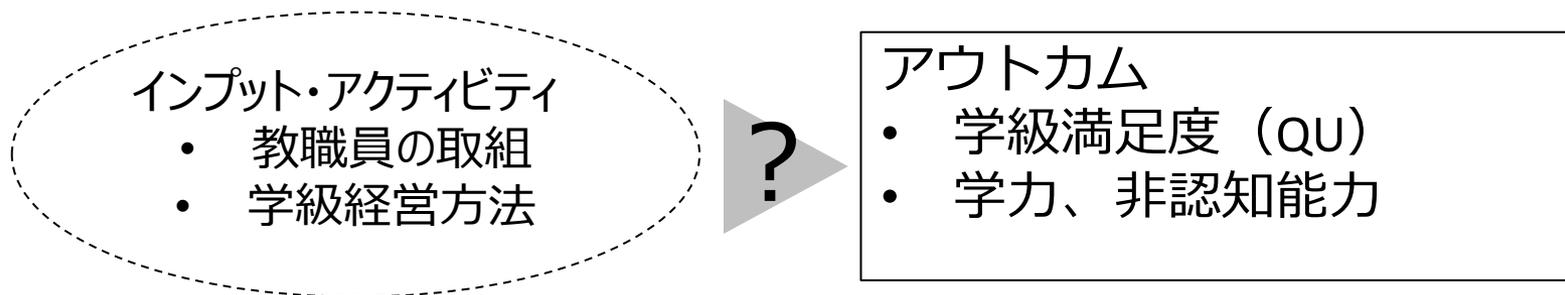
児童生徒の調査 = 学級満足度調査 (WEBQU)

- 教員の自己評価と児童生徒の心理検査を紐づける分析をする際の留意点
- 分析アイデア
- 今後の方向性

# 学級経営のデータ分析における課題

- 教育総合データベースに格納されているデータは、アウトカムのデータが中心で、  
 インプット・アクティビティ（取組内容）のデータの蓄積はできていない。

⇒つまり、個々のインプット・アクティビティの効果検証が難しい。



学級経営の取組について効果検証が難しい状況

教員の学級経営に関する自己評価（学級経営リフレクション）を  
インプット・アクティビティのデータとして扱うことはできないか？

# 本日の内容

- ・ 学級経営とは
- ・ 学級経営リフレクションとは
- ・ 市教委での活用状況
- ・ WEBQUと接続した分析

月

日



# 本日の内容

- ・ 学級経営とは
- ・ 学級経営リフレクションとは
- ・ 市教委での活用状況
- ・ WEBQUと接続した分析

月

日



# 学級経営とは

学習や生活の基盤として、教師と児童生徒との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から学級経営の充実を図ること

【小学校学習指導要領 第1章第4の1の(1)】

【中学校学習指導要領 第1章第4の1の(1)】

学級集団としての質の高まりを目指したり、教員と児童生徒、児童生徒相互のよりよい人間関係を構築しようとしたりすることが中心的な内容

【生徒指導提要 第2章 生徒指導と教育課程】

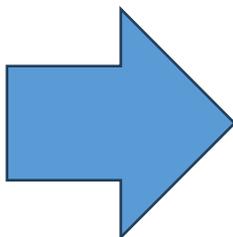
- ・ お互いを尊重し合う温かい風土を醸成する働きかけ
- ・ 安心してよさや可能性を発揮し合える集団になるような働きかけ
- ・ 個々の児童生徒が自己有用感や自己肯定感等を獲得することができるような声かけや働きかけ

【生徒指導提要を元にした戸田市教育委員会の捉え】

# 学級経営のイメージ

4・5月の段階

関係性が少ない  
同年代の集団



3月の段階

所属感や連帯感  
をもった集団



# 学級経営について

学級は他者と関わり合って生きることを学ぶ**教科書**そのものである。

学校は、今を生きる子供たちにとって、未来の社会に向けた準備段階であると同時に、現実の社会との関わりの中で、毎日の生活を築いていく場でもある。

そうした学校における、子供たちの学習や生活の基盤となるのが、日々の生活を共にする基礎的な集団である学級やホームルーム活動である。

中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（H28.12月）

# 学級経営の充実

協働的な学び

主体的・対話的で深い学びの実現

非認知能力、学習方略の向上

居場所づくり

# 本日の内容

- ・ 学級経営とは
- ・ 学級経営リフレクションとは
- ・ 市教委での活用状況
- ・ WEBQUと接続した分析

月  
日

# リフレクションの意味は？

反省 ×

内省 ◎

自らの学級経営を  
客観的に見つめ直す

強み・弱み



# 学級経営リフレクションシート（第1版）

## 視点①

安心・安全な学級づくりに向けて  
主に教師と子供の関係に関すること【安全】段階

No. 1	子供の話に耳を傾け、寄り添って気持ちを理解しようとしているか。
2	場当たりの指導を行わないよう、褒めたり、指導したりする際の原則となる判断基準をもっているか。
3	子供の成長を第一とするために、アンガーマネジメントに努めているか。
4	いじめや安全に関わる行動・発言に対して、毅然と指導しているか。
5	行動や発言は子供の範となるように振舞っているか。
6	保護者とのつながりを大切に、子供の気になる点や課題だけでなく、よさを共有するなどして定期的な連携に努めているか。
7	子供の最新の実態を把握するために、見る・話す・聞く・調べる・行動を共にする等、様々な方法で情報を集めているか。
8	問題行動等に対しては、人格を否定することなく「行為」を指導しているか。
9	当番や係活動、班活動等、学級における役割を一人一人の子供に持たせているか。
10	教師の話に対して、子供が聞く状態になっているか、話を理解しているかを確かめながらコミュニケーションを取っているか。
11	「いいね」「すごいね」など、子供の間にも前向きな発言や反応が増えるように教師の声掛けを工夫しているか。
12	整理整頓や清掃、掲示物の更新等により、学びに向かえる教室環境を整えているか。
13	UD（ユニバーサル・デザイン）の視点を取り入れ、どの子供にとっても過ごしやすい教室環境づくりに努めているか。
14	挨拶や返事、相手を見て話を聞くことなど、対人関係を良好にするための取組をしているか。
15	子供の望ましい行動を取り上げ、学級全体の行動に反映させようとしているか。

子供から  
信頼される  
教師

姿勢・態度

一人一人の  
子供を大切に  
する

取組・工夫

落ち着いて  
過ごせる  
環境をつくる

取組・工夫

子供の関係や  
集団の力を  
高める

取組・工夫

## 視点②

主体的・協働的な学級づくりに向けて  
主に、子供同士の関係、集団に関すること【交流】【承認】段階

No. 16	現在の実態を踏まえて目指すべき学級の姿や目標を見据え、その達成に向けて計画的・段階的に指導しているか。
17	教師自身が自己開示に努め、弱みも含めて一人の人としての姿を子供たちに見せているか。
18	指導をした後は、改善の様子を見取るとともに、必要なフォローをしているか。
19	個々の子供の伸びや変容を捉え、そのことを具体的かつタイムリーに伝えているか。
20	特定の子供だけでなく、多くの子供が意見を述べたり、活躍したりできるようにしているか。
21	「困った子」は「困っている子」であることを理解し、行動の背景を探り、環境を変えたり支援の引き出しを増やしたりすることなどの対応を行っているか。
22	話を端的にする・わかりやすくする・子供の意欲や必要感を引き出そうとする等、子供への伝え方を工夫しているか。
23	子供の小さな変化やサインを見逃さないよう、注意深く子供や子供同士の関係を見ながら、必要な支援をしているか。
24	間違いや誤った意見も大切に扱い、子供たちが意見を述べやすい雰囲気づくりをしているか。
25	目指すべき学級の姿や目標を子供と共有し、形骸化することなく様々な場面で生かしたり、振り返ったりしているか。
26	子供同士の間で自己開示や他者理解をしたり、相互に認め合ったりする活動を取り入れているか。
27	教師が介入しない方が子供の自律性を高める場合もあることを理解し、状況に応じて子供に考えさせたり、委ねたりしながら、その様子を見取っているか。
28	子供同士が折り合いを付けたり、納得解を導き出したりできるように、集団におけるよりよい意思決定の仕方を指導しているか。
29	ルールやきまり等を決める際は、子供たちの意見を取り入れたり、話し合わせたりして、子供自身が自己決定したと感ぜられるようにしているか。
30	子供の発意・発想を生かした活動を支援し、子供たち自身が学級文化を創り出せるようにしているか。

## 改善の ヒント

資料名	対応する項目(上段)	内容	対応QRコード
戸田市 指導の 重点・主な施策 バックナンバー	H30	12 13 P.11 教室・授業のUD化	①
	R2	21 P.11 児童生徒の「気になる行動」へのアプローチ	②
	R3	20 22 P.3 わかりやすい指示出しや発問 P.4 「つなげる」授業づくり	③
その他	11 14	P.10 ポジティブな行動支援 (PBS)	④
	R4	文部科学省 生徒指導提要	
	R4	教職員支援機構 基礎的研修シリーズ 学級づくりに関する研修動画 ※R6.4月時点 小学校版のみ	
	H30	みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動【小学校編】	
R5	国立教育政策研究所 学校文化を創る特別活動【中学校・高等学校編】	⑦	



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

## 活用上の留意点

No. 1～30の取組等が学級経営のすべてではありません。また、取組の実態は、子供の発達段階や実態に応じて異なります。しかし、2つの視点と4つのテーマはすべての学級に共通することです。まずは、リフレクションを通して、「動き出す（＝関係に聞く・事例を調べる等して実践する）」ことが大切です。

授業改善も学級経営とは不可分です。また、視点2を経て「自己実現」段階（前ページ参照）を目指すためには、よりよい学びの存在が不可欠でしょう。授業改善に向けては、P.3の「アクティブ・ラーニング指導用ルーブリック」とともにP.4の関係資料や過去の「指導の重点・主な施策」が参考になります。



# 学級経営リフレクションシート

全教職員が自分の学級の自己点検をする。(30項目)

主に教師と子供の関係に関すること【安全】段階

主に、子供同士の関係、集団に関すること【交流】【承認】段階

7月の夏季休業日前までにチェックシートに取り組む。

子供の成長を第一とするために、アンガーマネジメントに努めているか。

姿勢・態度

18 指導をした後は、改善の様子を見取るとともに、必要なフォローをしているか。

5 件法による回答

5 : 当てはまる

4 : どちらかといえば当てはまる

3 : どちらとも言えない

2 : どちらかといえば当てはまらない

1 : 当てはまらない

- 令和5年度策定し、令和6年度初めて実施した。
- 各学校より推薦された35名の「学級経営が巧みな教師」に共通する優れた実践知を言語化

# 2つの視点と4つのテーマで構成

## 視点① 安心・安全な学級

### 教師と子供との関係



もっているか。

子供の成長を第一とするために、アンガーマネジメントに努めているか。

じめや安全に関わる行動・発言に対して、毅然と指導しているか。

動や発言は子供の範となるように振舞っているか。

護者とのつながりを大切にし、子供の気になる点や課題だけでなく、よさを共にして定期的な連携に努めているか。

子供の最新の実態を把握するために、見る・話す・聞く・調べる・行動を共にする方法で情報を集めているか。

題行動等に対しては、人格を否定することなく「行為」を指導しているか。

番や係活動、班活動等、学級における役割を一人一人の子供に持たせているか。

師の話に対して、子供が聞く状態になっているか、話を理解しているかを確認しコミュニケーションを取っているか。

いいね」「すごいね」など、子供の間に前向きな発言や反応が増えるように工夫しているか。

理整頓や清掃、掲示物の更新等により、学びに向かえる教室環境を整えているか。

D（ユニバーサル・デザイン）の視点を取り入れ、どの子供にとっても過ごしやすい教室環境づくりに努めているか。

### 経営リフレクション

- 子供から信頼される教師  
**姿勢・態度**
- 一人一人の子供を大切に  
する  
**取組・工夫**
- 落ち着いて  
過ごせる  
環境をつくる  
**取組・工夫**
- 子供の関係や  
集団の力を  
高める  
**取組・工夫**

## 視点② 主体的・協働的な学級

### 子供同士の関係



解をした後は、改善の様子を見取るとともに、必要なフォローをしているか。

取の子供の伸びや変容を捉え、そのことを具体的かつタイムリーに伝えているか。

取の子供だけでなく、多くの子供が意見を述べたり、活躍したりできるようにしているか。

困った子」は「困っている子」であることを理解し、行動の背景を探り、環境の引き出しを増やしたりすることなどの対応を行っているか。

取を端的にする・わかりやすくする・子供の意欲や必要感を引き出そうとする等、工夫を工夫しているか。

取子供の小さな変化やサインを見逃さないよう、注意深く子供や子供同士の関係を必要支援をしているか。

取間違いや誤った意見も大切に扱い、子供たちが意見を述べやすい雰囲気づくりをしているか。

取目指すべき学級の姿や目標を子供と共有し、形骸化することなく様々な場面で生かしているか。

取子供同士の間で自己開示や他者理解をしたり、相互に認め合ったりする活動を取り入れているか。

取教師が介入しない方が子供の自律性を高める場合もあることを理解し、状況に応じて見守ったり、委ねたりしながら、その様子を見取っているか。

取子供同士が折り合いを付けたり、納得解を導き出したりできるように、集団における意思決定の仕方を指導しているか。

# 視点① 安心・安全な学級

## 教師と子供との関係



経営リフレクション

# 視点② 主体的・協働的な学級

## 子供同士の関係



- No. 1 子供の話にも耳を傾け、寄り添って気持ちを
- 2 場当たりの指導を行わないよう、褒めた
- 3 子供の成長を第一とするために、アンガ
- 4 いじめや安全に関わる行動・発言に対して、毅然と指導しているか。
- 5 行動や発言は子供の範となるように振舞っ
- 6 保護者とのつながりを大切に、子供の気
- 7 子供の最新の実態を把握するために、見る
- 8 問題行動等に対しては、人格を否定することなく「行為」を指導しているか。
- 9 当番や係活動、班活動等、学級における役割を
- 10 教師の話に対して、子供が聞く状態にな
- 11 「いいね」「すごいね」など、子供の間に
- 12 整理整頓や清掃、掲示物の更新等により、学びに向かえる教室環境を整えているか。
- 13 UD（ユニバーサル・デザイン）の視点を取り入れ、どの子供にとっても過ごしやすい
- 14 挨拶や返事、相手を見て話を聞くことなど
- 15 子供の望ましい行動を取り上げ、学級全体

### A 子供から信頼される教師の姿勢・態度

### B 1人1人の子供を大切にする取組・工夫

### C 落ち着いて過ごせる環境をつくる取組・工夫

### D 子供の関係や集団の力を高める取組・工夫

子供の関係や  
集団の力を  
高める

- 19 個々の子供の伸びや変容を捉え、そのことを具体的かつタイムリーに伝えているか。
- 20 目標を見据え、その達成に向けて計画的・
- 21 の人としての姿を子供たちに見せているか。
- 22 必要なフォローをしているか。
- 23 子供の変化やサインを見逃さないよう、注意深く子供や子供同士の関係を見ながら、必要な支援をしているか。
- 24 落ち着いた様子で子供たちと接し、子供たちが意見を述べやすい雰囲気づくりをしているか。
- 25 変化することなく様々な場面で生かしたり、
- 26 に認め合ったりする活動を取り入れているか。
- 27 状況にもあることを理解し、状況に応じて子供に考えさせたり、委ねたりしながら、その様子を見取っているか。
- 28 子供同士が折り合いを付けたり、納得解を導き出したりできるように、集団におけるよりよい意思決定の仕方を指導しているか。
- 29 ルールやきまり等を決める際は、子供たちの意見を取り入れたり、話し合わせたりして、
- 30 各々が自身で学級文化を創り出せるように

# 本日の内容

- ・ 学級経営とは
- ・ 学級経営リフレクションとは
- ・ 市教委での活用状況
- ・ WEBQUと接続した分析

月

日

# 市教委での活用状況

4月 指導の重点・主な施策

7月 全教職員  
リフレクションの実施

7月 根幹研修会

9月 リフレクション結果の  
フィードバック

# 4月 指導の重点・主な施策



令和6年度

## 指導の重点・主な施策

～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～

戸田市教育委員会



戸田市教育委員会 facebook



## 4月26日 教科等研究部会

# 知ってもらおう

# 7月 全教職員 リフレクションの実施

## R6学級経営リフレクションシート

夏季休業期間前のお忙しい中ですが、学級経営や児童生徒への関わり方を振り返り、夏季休業明けの指導改善をねらいとして振り返りを行ってください。指導の重点・主な施策に掲載されている視点1・2の合計30問について振り返りをお願いします。  
回答時間は、10分～20分を想定しています。

[アカウントを切り替える](#)



\* 必須の質問です

メール\*

返信に表示するメールアドレスとして

を記録する

学校名を選択してください。\*

選択

00 担当クラス（教科）\*

例) 3-2

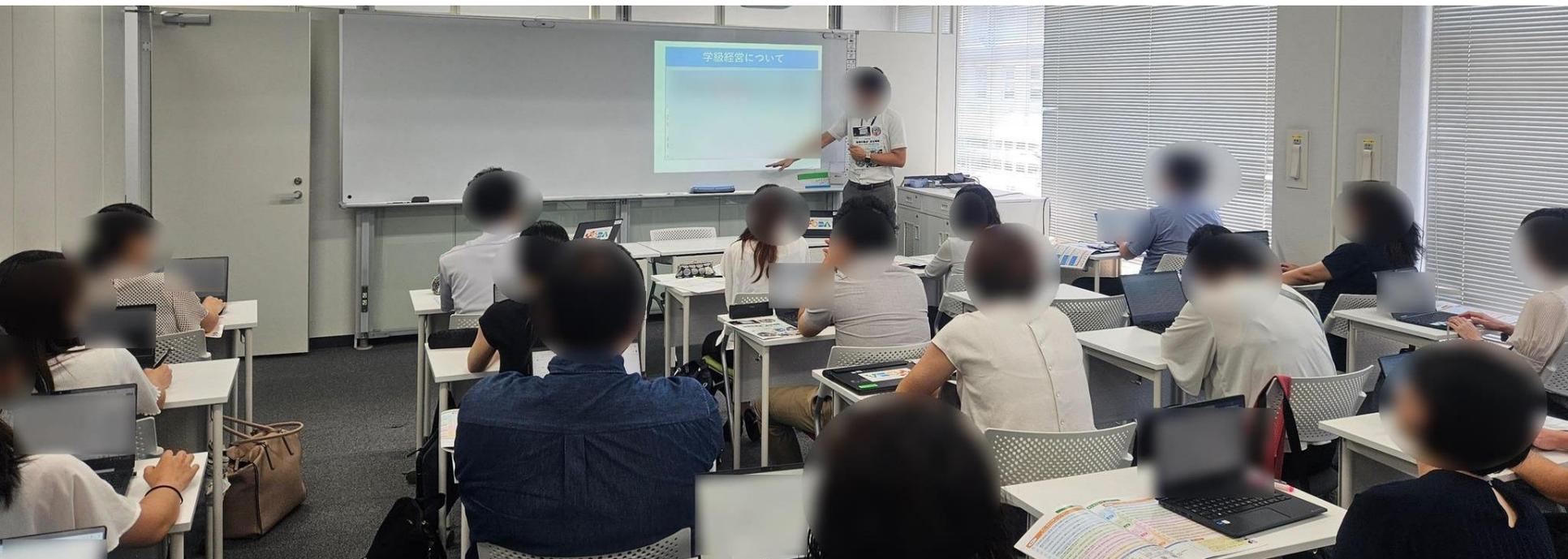
音楽専科、3年副担任 等

回答を入力

7月19日  
夏季休業明けの  
学級経営の改善・  
見直しに向けて

取り組んでもらう

# 7月 根幹研修会



**7月26日、31日  
各校1名以上の参加**

**広めてもらう**

# 9月 リフレクション結果の フィードバック

事 務 通 報  
令和6年9月6日

伊田市立各小・中学校長 様

伊田市教育委員会教育政策室担当課長（指漕）

学級経営リフレクションの結果の送付について

通り実施していただいた、学級経営リフレクションの結果を送付いたします。  
つきましては、本市の傾向と貴校の傾向を確認し、今後の学校経営・学校運営に活用  
するとともに、それぞれの教員の内容の結果から、一人一人の教員へのフィードバック  
や今後の関わりが役立てるようにお願いいたします。

- 1 送付物 (1) 本市の傾向（別紙1）  
(2) 各校の結果（Excelデータ）

- 2 その他  
・Google フォームの生データ（編集可能）は、Google ドライブ「00（配布資料）」に格  
納しているの、コピーして各学校で自校分のデータを利用可能です。

## 各校のExcel データを送付

役立ててもらおう

担当：教育政策室（指漕担当）  
野 島（内線3791）

1. 子	2. 場	3. 子	4. い	5. 子	6. 場	7. 子	8. 場	9. 場	10. 教	11. /	12. 場	13. U	14. 場	15. 子	16. 場	17. 教	18. 場	19. 場	20. 場	21. /	22. 場	23. 子	24. 場	25. 目	26. 子	27. 教	28. 子	29. /	30. 子	平均		
5	4	4	5	4	4	4	5	5	3	4	3	4	4	4	3	3	5	5	5	3	4	4	4	5	4	4	6	3	5	4	4.1	
5	4	5	5	4	4	4	5	5	5	5	5	4	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	4	5	5	5	5	4.7	
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4	5	4	4	4	4	5	6	4	4	4	4	4	4	4.6	
5	5	4	5	4	3	3	5	3	4	4	5	5	4	4	3	4	4	3	5	4	3	5	4	3	4	3	4	3	4	4.07		
4	4	4	4	4	5	4	5	2	4	5	4	3	5	5	4	4	5	4	5	4	5	5	4	5	2	5	2	4	2	4.07		
5	4	5	5	4	4	5	5	5	4	4	4	5	4	4	5	5	4	5	5	5	4	5	4	5	5	5	5	4	4	4.57		
4	5	5	4	3	4	4	5	2	5	4	2	3	4	4	4	5	5	5	2	4	5	3	3	3	2	5	3	3	5	4.5		
4	4	4	5	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.17	
4	4	3	4	3	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3.9	
5	5	5	5	4	3	4	5	3	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3.47	
5	5	4	5	5	4	3	5	5	3	4	5	3	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.23	
4	4	4	5	4	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.17	
5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.57	
4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.17	
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
5	5	4	5	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.03
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.93
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9
5	4	4	5	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.57
5	5	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.77
5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.6
5	5	5	5	4	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.87
4	4	4	4	3	2	4	4	5	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.3
5	5	5	5	5	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.5
5	4	5	5	4	5	4	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.63
4	4	3	4	4	3	4	5	3	5	4	5	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4.5
5	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.59
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.87
5	4	4	5	4	4	3	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.13
5	4	5	4	5	5	5	5	5	4	5	5	4	5	5	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.67
5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.4
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3.97
5	5	5	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4.73
4	4	5	5	4	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.59
2	4	2	2	2	2	2	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2.13
4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.03
5	5	4	5	4	5	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.67
4	5	4	5	4	4	4	5	5	5	4	4	5	5	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.6
5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	4	5	4	5	5	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.77

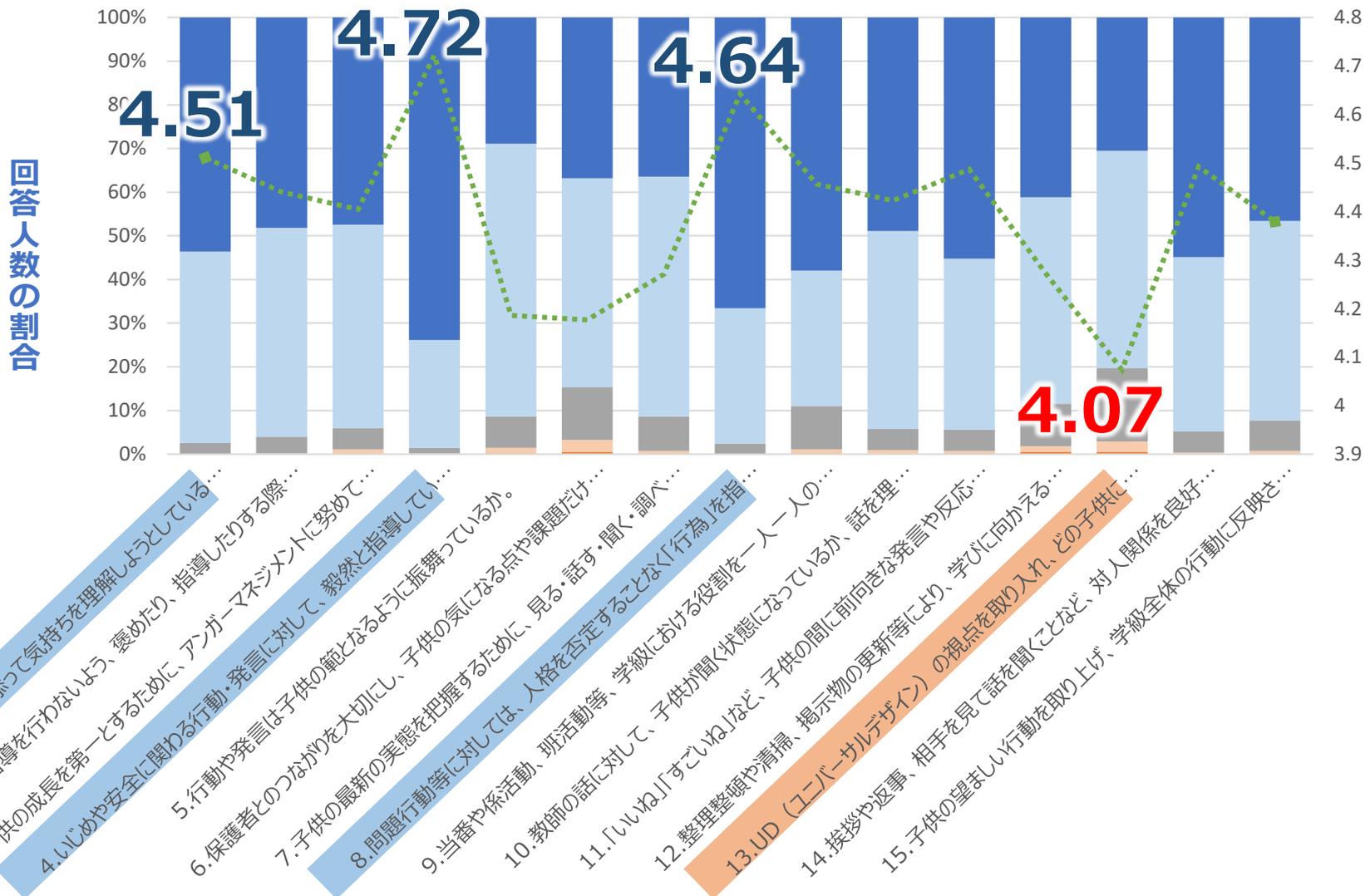
# 視点① 安心・安全な学級

## 教師と子供との関係



平均値

■ 当てはまらない 
 ■ どちらかといえば当てはまらない 
 ■ どちらとも言えない 
 ■ どちらかといえば当てはまる 
 ■ 当てはまる 
 ◆平均





4.いじめや安全に関わる行動・発言  
にて対して毅然と指導しているか

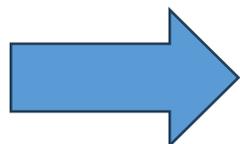
4.72

8.問題行動等に対しては、人格を否  
定することなく「行為」を指導して  
いるか

4.64

1.子供の話に耳を傾け、寄り添って  
気持ちを理解しようとしているか

4.51



A.子供から信頼される教師の態度・姿勢

## 9月 リフレクション結果のフィードバック **低い**

13.UDの視点を取り入れ、どの子供にとっても  
過ごしやすい教室環境づくりに努めているか

**4.07**

25.目指すべき学級の姿や目標を子供と共有し、形骸化するこ  
となく様々な場面で生かしたり、振り返ったりしているか

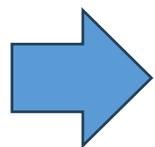
**4.08**

30.子供の発意・発想を生かした活動を支援し、子供たち自身  
が学級文化を創り出せるようにしているか

**4.08**

28.子供同士が折り合いを付けたり、納得解を導き出したりで  
きるように、集団におけるよりよい意思決定の仕方を指導  
しているか

**4.09**



**D.子供の関係や集団の力を高める取組・工夫**

# 本日の内容

- ・ 学級経営とは
- ・ 学級経営リフレクションとは
- ・ 市教委での活用状況
- ・ WEBQUと接続した分析

月  
日

# WEBQUの概要

- 早稲田大学の河村茂雄教授が開発した、学校・学級生活への不適応、不登校、いじめ被害の可能性の高い子どもを早期に発見できる心理テスト
- 学級満足度尺度、学校生活意欲尺度、ソーシャルスキル尺度より構成（4件法のアンケートの回答から尺度を算出）

## 学級満足度尺度 （今回の分析で使用）

承認得点（6問）と被侵害得点（6問）を2次元でプロットし、4群に分類（今回は学級生活満足群にどうかを分析に利用）

- 学級生活満足群
- 非承認群
- 侵害行為認知群
- 学級生活不満足群

## 学級生活意欲尺度 （今回の分析では不使用）

○以下の3つの下位尺度尺度を合計して算出

- 友達関係（3問）
- 学習意欲（3問）
- 学級の雰囲気（3問）

# WEBQU（学級満足度調査）と 組み合わせた試行的分析

- 学級経営リフレクション = 各教師の学級での取組として、WEB児童の学級満足度を測定する、WEBQUとの関係について分析を試行。

アウトカムのデータ	学級満足度調査（WEBQU） （市内小学校1～6年生）
インプット・アクティビティのデータ	学級経営リフレクション（30項目） （市内小学校でクラス担任をしている教員）
分析方法	重回帰分析 被説明変数：学級満足群ダミー 説明変数：学級経営リフレクションの各項目

# WEBQUの尺度・基本統計量

- WEBQUの尺度のうち、学級満足度・学級生活意欲尺度の基本統計量は以下の通り。
- 学級生活満足群に入っている児童は全体の47%
- 学級生活意欲尺度については、下位尺度「学習意欲」が相対的に低い。

基本統計量 (N=7,116)	平均	標準偏差	最小値	中央値	最大値
学級満足度尺度 (学級生活満足群ダミー)	0.47	0.50	0	0	1
承認得点	19.25	3.52	6	20	24
被侵害得点	11.37	4.20	6	11	24
学級生活意欲尺度	30.68	3.92	9	31	36
友達関係	10.32	1.64	3	11	12
学習意欲	9.79	1.75	3	10	12
学級の雰囲気	10.58	1.60	3	11	12

# 回帰分析：（被説明変数）学級満足群ダミー

テーマ	変数（視点①安心・安全な学級）	係数	標準誤差
	（切片）	0.290***	(0.091)
子供から信頼される教師	q1_子供の話に耳を傾け、寄り添って気持ちを理解しようとしているか。	-0.040***	(0.014)
	q2_場当たりの指導を行わないよう、褒めたり、指導したりする際の原則となる判断基準をもっているか。	-0.011	(0.014)
	q3_子供の成長を第一とするために、アンガーマネジメントに努めているか。	-0.005	(0.012)
	q4_いじめや安全に関わる行動・発言に対して、毅然と指導しているか。	0.026*	(0.016)
	q5_行動や発言は子供の範となるように振舞っているか。	-0.023*	(0.014)
	q6_保護者とのつながりを大切にし、子供の気になる点や課題だけでなく、よさを共有するなどして定期的な連携に努めているか。	-0.014	(0.012)
一人一人の子供を大切に	q7_子供の最新の実態を把握するために、見る・話す・聞く・調べる・行動を共にする等、様々な方法で情報を集めているか。	-0.002	(0.014)
	q8_問題行動等に対しては、人格を否定することなく「行為」を指導しているか。	-0.002	(0.016)
	q9_当番や係活動、班活動等、学級における役割を一人一人の子供に持たせているか。	-0.022*	(0.012)
落ち着いた過ごせる環境を作る	q10_教師の話に対して、子供が聞く状態になっているか、話を理解しているかを確認しながらコミュニケーションを取っているか。	0.017	(0.012)
	q11_「いいね」「すごいね」など、子供の間に前向きな発言や反応が増えるように教師の声掛けを工夫しているか。	0.010	(0.014)
	q12_整理整頓や清掃、掲示物の更新等により、学びに向かえる教室環境を整えているか。	0.021**	(0.011)
	q13_UD（ユニバーサルデザイン）の視点を取り入れ、どの子供にとっても過ごしやすい教室環境づくりに努めているか。	-0.003	(0.010)
子供の関係や集団の力を高める	q14_挨拶や返事、相手を見て話を聞くことなど、対人関係を良好にするための取組をしているか。	0.006	(0.015)
	q15_子供の望ましい行動を取り上げ、学級全体の行動に反映させようとしているか。	-0.011	(0.013)

※ \*:p<0.1,\*\*:p<0.05,\*\*\*:p<0.01

# 回帰分析：（被説明変数）学級満足群ダミー②

テーマ	変数（視点②主体的・協動的な学級）	係数	標準誤差
子供から信頼される教師	q16_現在の実態を踏まえて目指すべき学級の姿や目標を見据え、その達成に向けて計画的・段階的に指導しているか。	0.019	(0.015)
	q17_教師自身が自己開示に努め、弱みも含めて一人の人としての姿を子供たちに見せているか。	0.010	(0.012)
一人一人の子供を大切にす	q18_指導した後は、改善の様子を見取るとともに、必要なフォローをしているか。	-0.008	(0.014)
	q19_個々の子供の伸びや変容を捉え、そのことを具体的かつタイムリーに伝えているか。	-0.030**	(0.013)
	q20_特定の子供だけでなく、多くの子供が意見を述べたり、活躍したりできるようにしているか。	-0.037***	(0.012)
	q21_「困った子」は「困っている子」であることを理解し、行動の背景を探り、環境を変えたり、支援の引き出しを増やしたりすることなどの対応を行っているか。	-0.002	(0.013)
落ち着いて過ごせる環境を作る	q22_話を端的にする・わかりやすくする・子供の意欲や必要感を引き出そうとする等、子供への伝え方を工夫しているか。	0.001	(0.013)
	q23_子供の小さな変化やサインを見逃さないよう、注意深く子供や子供同士の関係を見ながら、必要な支援をしているか。	0.003	(0.015)
	q24_間違いや誤った意見も大切に扱い、子供たちが意見を述べやすい雰囲気づくりをしているか。	0.028**	(0.013)
子供の関係や集団の力を高める	q25_目指すべき学級の姿や目標を子供と共有し、形骸化することなく様々な場面で生かしたり、振り返ったりしているか。	0.018	(0.012)
	q26_子供同士の間で自己開示や他者理解をしたり、相互に認め合ったりする活動を取り入れているか。	0.014	(0.013)
	q27_教師が介入しない方が子供の自律性を高める場合もあることを理解し、状況に応じて子供に考えさせたり、委ねたりしながら、その様子を見取っているか。	0.024*	(0.013)
	q28_子供同士が折り合いを付けたり、納得解を導き出したりできるように、集団におけるよりよい意思決定の仕方を指導しているか。	0.033***	(0.012)
	q29_ルールや決まり等を決める際は、子供たちの意見を取り入れたり、話し合わせたりして、子供自身が自己決定したと感じられるようにしているか。	0.003	(0.013)
	q30_子供の発意・発想を生かした活動を支援し、子供たち自身が学級文化を創り出せるようにしているか。	0.019*	(0.011)
	観測数	7116	
	R2 Adj.	0.009	

※ \*:p<0.1,\*\*:p<0.05,\*\*\*:p<0.01

# 回帰分析結果（まとめ）

テーマ	結果
子供から信頼される教師	<ul style="list-style-type: none"><li>全体的に係数がマイナスもしくはゼロ近傍</li><li>視点①では、マイナスに有意な項目が複数あり</li><li>視点①「いじめや安全に関わる行動・発言に対して、毅然と指導」のみプラスに有意</li></ul>
一人一人の子供を大切に	<ul style="list-style-type: none"><li>全ての係数がマイナスもしくはゼロ近傍</li><li>一人一人の子供への働きかけが明示的な項目がマイナスに有意に出ている傾向。</li></ul>
落ち着いて過ごせる環境を作る	<ul style="list-style-type: none"><li>全体的に係数がプラスもしくはゼロ近傍</li><li>クラス全体に向けた取組の項目がプラスに有意に出ている傾向</li></ul>
子供の関係や集団の力を高める	<ul style="list-style-type: none"><li>全体的に係数がプラス（視点②）もしくはゼロ近傍（視点①）</li></ul>

## ● シンプルに解釈すると・・・

- 係数がプラスの項目が多かったテーマである、「落ち着いて過ごせる環境を作る」こと、「子供の関係や集団の力を高める」ことが、児童の学級満足度を高めるために重要で、係数がプラスになっている項目について特に重点的に取り組むべき
- 係数が統計的に有意でない項目は、リフレクションと学級満足度は関係性が低い可能性
- 係数がマイナスの項目については、「リフレクションの結果が良いほど、学級満足群になりづらくなる」という結果で、このような項目は取り組むべきではない可能性

⇒ 重点的に取り組むべき項目について一定程度、示唆を得られた

⇒ 学級経営リフレクション策定時に想定していた傾向とは異なる項目がある

⇒ 自己評価のデータを分析・解釈するうえで工夫の必要があるのではないかと

# 試分析結果の解釈

- 係数がゼロ近傍もしくはマイナスになっている項目の解釈について以下のようなことが考えられるのではないかと。

測定誤差	同じ項目でも、個々の教員が想定する目標水準にバラつきがあり、理想が高い教員ほど、低めにつける傾向があるのではないかと。
逆の因果関係	WEBQUが悪いクラスほど、その改善のために先生は努力しているのではないかと
本当に負の影響がある	リフレクションの項目の中に、教師が頑張ると、児童学級満足度の結果が本当に悪化してしまう項目がある可能性
データ分析手法の問題	似たような変数を大量に投入していることにより、係数の推定が不安定になっている可能性（多重共線性）

- 係数がプラスの項目の解釈についてはとりあえず素直に受け取ってみる。
- 今回は関係性を概観するための一次的な回帰分析を実施。
  - 分析としては非常に粗い分析にとどまっているので、解釈に限界あり。
  - リフレクション（自己評価）データを説明変数として分析することに限界？
    - 教師の自己評価を教室でのインプット・アクティビティのデータとして取り扱うことには向かないか？
    - リフレクションのどの項目も平均点が高く、分散も小さいため、何かと紐づけて分析することに向かないか？

# 分析結果の活用とそのために必要な分析

## ■ 学級経営リフレクションの改善

- 視点・テーマとして設定している項目グループがもっともらしいかの再検討
  - 主成分分析
- 重点項目の絞り込み
  - 今回の分析の精緻化・頑健化（クラスター化標準誤差の適用、11月実施のWEBQUの結果を使ったパネルデータ化、各種固定効果の適用）
- 各項目の目標水準の具体化
  - 各項目の動作レベルまでの具体化（さらなるヒアリングや文献調査）
- 各教員の属性や取り巻く環境による回答傾向の変化の把握
  - 学校規模や担当学級規模、教員属性（年齢・経験年数など）を考慮した分析

## ■ 学級経営リフレクションの教員への指導・助言における活用

- アウトカム指標の再検討
  - QUの学級生活意欲尺度やソーシャルスキル尺度と組み合わせた分析
- より信頼性の高い分析から示唆を得る
  - 今回の分析の精緻化・頑健化

学級経営リフレクションの教師に内省を促す一つのツールとしての要素とデータの取得としての要素の両方を高めていきたい。

# 本日まで議論いただきたいこと（再掲）

## 教員の自己評価データと児童生徒の調査を紐づけた分析について

教員の自己評価 = 学級経営リフレクション

児童生徒の調査 = 学級満足度調査（WEBQU）

- 教員の自己評価と児童生徒の心理検査を紐づける分析をする際の留意点
- 分析アイデア
- 今後の方向性

# 学校経営リフレクション（小学校担任）の基本統計量①

基本統計量（視点①）（N=280）	平均	標準偏差	最小値	中央値	最大値
q1_子供の話に関心をもち、寄り添って気持ちを理解しようとしているか。	4.50	0.54	3	5	5
q2_場当たり的な指導を行わないよう、褒めたり、指導したりする際の原則となる判断基準をもっているか。	4.48	0.55	2	5	5
q3_子供の成長を第一とするために、アンガーマネジメントに努めているか。	4.35	0.64	2	4	5
q4_いじめや安全に関わる行動・発言に対して、毅然と指導しているか。	4.76	0.45	3	5	5
q5_行動や発言は子供の範となるように振舞っているか。	4.20	0.60	2	4	5
q6_保護者とのつながりを大切に、子供の気になる点や課題だけでなく、よさを共有するなどして定期的な連携に努めているか。	4.20	0.70	2	4	5
q7_子供の最新の事態を把握するために、見る・話す・聞く・調べる・行動を共にする等、様々な方法で情報を集めているか。	4.27	0.60	2	4	5
q8_問題行動等に対しては、人格を否定することなく「行為」を指導しているか。	4.68	0.49	3	5	5
q9_当番や係活動、班活動等、学級における役割を一人一人の子供に持たせているか。	4.64	0.60	2	5	5
q10_教師の話に対して、子供が聞く状態になっているか、話を理解しているかを確認しながらコミュニケーションを取っているか。	4.43	0.62	2	4	5
q11_「いいね」「すごいね」など、子供の間に関心や反応が増えるように教師の声掛けを工夫しているか。	4.49	0.59	2	5	5
q12_整理整頓や清掃、掲示物の更新等により、学びに向かえる教室環境を整えているか。	4.29	0.69	2	4	5
q13_UD（ユニバーサルデザイン）の視点を取り入れ、どの子供にとっても過ごしやすい教室環境づくりに努めているか。	4.05	0.76	1	4	5
q14_挨拶や返事、相手を見て話を聞くことなど、対人関係を良好にするための取組をしているか。	4.49	0.58	2	5	5
q15_子供の望ましい行動を取り上げ、学級全体の行動に反映させようとしているか。	4.45	0.60	1	4	5

# 学校経営リフレクション（小学校担任）の基本統計量②

基本統計量（視点②）（N=280）	平均	標準偏差	最小値	中央値	最大値
q16_ 現在の実態を踏まえて目指すべき学級の姿や目標を見据え、その達成に向けて計画的・段階的に指導しているか。	4.15	0.60	2	4	5
q17_ 教師自身が自己開示に努め、弱みも含めて一人の人としての姿を子供たちに見せているか。	4.32	0.73	2	4	5
q18_ 指導した後は、改善の様子を見取るとともに、必要なフォローをしているか。	4.39	0.56	3	4	5
q19_ 個々の子供の伸びや変容を捉え、そのことを具体的かつタイムリーに伝えているか。	4.17	0.64	2	4	5
q20_ 特定の子供だけでなく、多くの子供が意見を述べたり、活躍したりできるようにしているか。	4.15	0.72	2	4	5
q21_ 「困った子」は「困っている子」であることを理解し、行動の背景を探り、環境を変えたり、支援の引き出しを増やしたりすることなどの対応を行っているか。	4.20	0.68	2	4	5
q22_ 話を端的にする・わかりやすくする・子供の意欲や必要感を引き出そうとする等、子供への伝え方を工夫しているか。	4.25	0.62	2	4	5
q23_ 子供の小さな変化やサインを見逃さないよう、注意深く子供や子供同士の関係を見ながら、必要な支援をしているか。	4.19	0.62	2	4	5
q24_ 間違いや誤った意見も大切に扱い、子供たちが意見を述べやすい雰囲気づくりをしているか。	4.39	0.62	2	4	5
q25_ 目指すべき学級の姿や目標を子供と共有し、形骸化することなく様々な場面で生かしたり、振り返ったりしているか。	4.09	0.68	2	4	5
q26_ 子供同士の間で自己開示や他者理解をしたり、相互に認め合ったりする活動を取り入れているか。	4.15	0.71	1	4	5
q27_ 教師が介入しない方が子供の自律性を高める場合もあることを理解し、状況に応じて子供に考えさせたり、委ねたりしながら、その様子を見取っているか。	4.25	0.63	2	4	5
q28_ 子供同士が折り合いを付けたり、納得解を導き出したりできるように、集団におけるよりよい意思決定の仕方を指導しているか。	4.14	0.71	1	4	5
q29_ ルールや決まり等を定める際は、子供たちの意見を取り入れたり、話し合わせたりして、子供自身が自己決定したと感じられるようにしているか。	4.31	0.65	1	4	5
q30_ 子供の発意・発想を生かした活動を支援し、子供たち自身が学級文化を創り出せるようにしているか。	4.12	0.69	1	4	5